

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪
設置者名	学校法人 水野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
ジュエリー専門課程	ジュエリーデザイン科ジュエリープロダクトコース	夜・通信	2022 時間	160 時間	
	ジュエリーデザイン科ウォッチメーカーコース	夜・通信	1968 時間	160 時間	
	ジュエリー研究科クリエイティブジュエリーコース	夜・通信	3054 時間	240 時間	
サイクル専門課程	スポーツ工学デザイン科自転車メカニクコース	夜・通信	1984 時間	160 時間	
ジュエリー専門課程	ジュエリーデザイン科ジュエリープロダクトコースⅡ	夜・通信	1860 時間	135 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて公表 http://hiko-osaka.jp/about_futankeigen

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪
設置者名	学校法人 水野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公表 http://hiko-osaka.jp/about_futankeigen

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社員 上級技術顧問	2022年6月 28日～2025 年6月27日	企画・調整・コンプ ライアンス
非常勤	税理士	2022年6月 28日～2025 年6月27日	企画・調整・コンプ ライアンス・財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪
設置者名	学校法人 水野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成に当たっては、カリキュラムポリシーに則り、各コースのプログラム担当が原案を作成している。 原案は、学科長・教育部長の順に審査が行われ、学校長の承認のもと決定される。授業計画(シラバス)はHP上にて公表するとともに、年初のオリエンテーションにて詳細説明を行い、学生に周知している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本校HPにて公表 https://hiko-osaka.jp/about_futankeigen</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価を適切に実施し、その指針となるべき基準は、『水野学園成績評価に関する内規』にて定めている。 各課題等の成績は、担当講師が上記内規の評価基準にしたがって厳格かつ適正に評価し、履修の認定を行っている。 成績評価に関する質問等は成績発表後、一定期間を設けて受け付け、真摯に対応することとしている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「水野学園GPA制度に関する内規」により、成績評価においてGPAによる客観的な指標を設定し、学内の成績評価として使用している。 成績の分布状況を把握し、数値不良者に対して個別面談・就学支援をすることとしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本校HPにて公表 https://hiko-osaka.jp/about_futankeigen</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定についてはディプロマポリシーを定め、HPにて公表している。
卒業認定は、履修状況、出席率、授業態度、成績などを総合的に判断し、担当講師、学科長、教育部長、学校長の合議により決定することを事前に通知した上で実施している。
結果は掲示にて公表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本校 HP にて公表
https://hiko-osaka.jp/about_futankeigen

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪
設置者名	学校法人 水野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校 HP にて公表 https://hiko-osaka.jp/about_futankeigen
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		ジュエリー 専門課程	ジュエリーデザイン科 ジュエリープロダクト コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2038 単位時間/単位	46 単位時間/単位	40 単位時間/単位	1952 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		12人	4人	2人	4人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）の作成に当たっては、カリキュラムポリシーに則り、各コースのプログラム担当が原案を作成している。 原案は、学科長・教育部長の順に審査が行われ、学校長の承認のもと決定される。 授業計画（シラバス）はHP上にて公表するとともに、年初のオリエンテーションにて詳細説明を行い、学生に周知している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「水野学園GPA制度に関する内規」により、成績評価においてGPAによる客観的な指標を設定し、学内の成績評価として使用している。 成績の分布状況を把握し、数値不良者に対して個別面談・就学支援をすることとしている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定についてはディプロマポリシーを定め、HPにて公表している。 卒業認定は、履修状況、出席率、授業態度、成績などを総合的に判断し、担当講師、学科長、教育部長、学校長の合議により決定することを事前に通知した上で実施している。 結果は掲示にて公表している。

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ・履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ・公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ・学校提携の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	人 (%)	8人 (88.9%)	1人 (11.1%)
(主な就職、業界等) (株)杵目金屋、(株)沙羅双樹ほか ジュエリー業界、ファッション業界等への就職			
(就職指導内容) 就職活動の流れ等説明、履歴書書き方指導、面接指導 ビジネスマナー指導、学内説明会、リクルート内覧会ほか			
(主な学修成果（資格・検定等）) 貴金属装身具技能検定 2級・3級 ジュエリーコーディネーター検定 2級・3級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	1人	3.7%
(中途退学の主な理由) 経済上の理由 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、出席状況・課題提出状況を書した保護者通知のWEB閲覧、 学校長メールアドレスの全学年公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、 個別面談など。 中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。 中途採用求人公開なども実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	ジュエリー 専門課程	ジュエリーデザイン科 ウォッチメーカーコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1984 単位時間/単位	440 単位時間/単位	単位時間/単位	1544 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	21人	2人	1人	2人	3人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成に当たっては、カリキュラムポリシーに則り、各コースのプログラム担当が原案を作成している。</p> <p>原案は、学科長・教育部長の順に審査が行われ、学校長の承認のもと決定される。</p> <p>授業計画（シラバス）はHP上にて公表するとともに、年初のオリエンテーションにて詳細説明を行い、学生に周知している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>「水野学園GPA制度に関する内規」により、成績評価においてGPAによる客観的な指標を設定し、学内の成績評価として使用している。</p> <p>成績の分布状況を把握し、数値不良者に対して個別面談・就学支援をすることとしている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定についてはディプロマポリシーを定め、HPにて公表している。</p> <p>卒業認定は、履修状況、出席率、授業態度、成績などを総合的に判断し、担当講師、学科長、教育部長、学校長の合議により決定することを事前に通知した上で実施している。</p> <p>結果は掲示にて公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ・履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ・公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ・学校提携の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 （100%）	人 （%）	15人 （100%）	人 （%）
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>日本ロレックス(株)、セイコータイムラボ(株)、ほか 時計修理会社、時計販売会社、時計製造メーカーへの就職</p>			

(就職指導内容) 就職活動の流れ等説明、履歴書書き方指導、面接指導 ビジネスマナー指導、学内説明会、リクルート内覧会ほか
(主な学修成果(資格・検定等)) 時計修理技能士2級・3級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	3 人	10.7%
(中途退学の主な理由) 経済上の理由、健康上の理由、履修上の理由 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、出席状況・課題提出状況を書した保護者通知のWEB閲覧、 学校長メールアドレスの全学年公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、 個別面談など。 中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。 中途採用求人への公開なども実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	ジュエリー 専門課程	ジュエリー研究科 クリエイティブ ジュエリーコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3070 単位時間/単位	46 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位	2944 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	81人	12人	2人	3人	5人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画(シラバス)の作成に当たっては、カリキュラムポリシーに則り、 各コースのプログラム担当が原案を作成している。 原案は、学科長・教育部長の順に審査が行われ、学校長の承認のもと決定される。 授業計画(シラバス)はHP上にて公表するとともに、年初のオリエンテーションに て詳細説明を行い、学生に周知している。
成績評価の基準・方法
(概要) 「水野学園GPA制度に関する内規」により、成績評価においてGPAによる客観的 な指標を設定し、学内の成績評価として使用している。 成績の分布状況を把握し、数値不良者に対して個別面談・就学支援をすることとして いる。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定についてはディプロマポリシーを定め、HPにて公表している。 卒業認定は、履修状況、出席率、授業態度、成績などを総合的に判断し、担当講師、学科長、教育部長、学校長の合議により決定することを事前に通知した上で実施している。 結果は掲示にて公表している。
学修支援等
(概要) ・クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ・履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ・公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ・学校提携の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31人 (100%)	5人 (16.1%)	22人 (71.0%)	4人 (12.9%)
(主な就職、業界等) ㈱ケイ・ウノ、㈱ピースリークリエーション ほか ジュエリー業界、ファッション業界等への就職			
(就職指導内容) 就職活動の流れ等説明、履歴書書き方指導、面接指導 ビジネスマナー指導、学内説明会、リクルート内覧会ほか			
(主な学修成果(資格・検定等)) 貴金属装身具技能検定 2級・3級 ジュエリーコーディネーター検定 2級・3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88人	1人	1.1%
(中途退学の主な理由) 履修上の理由 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、出席状況・課題提出状況を書した保護者通知のWEB閲覧、 学校長メールアドレスの全学年公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、 個別面談など。 中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。 中途採用求人公開なども実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	サイクル 専門課程	スポーツ工学デザイン科 自転車メカニックコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2000 単位時間/単位	16 単位時間/単位	1984 単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
56人	38人	1人	2人	2人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画（シラバス）の作成に当たっては、カリキュラムポリシーに則り、各コースのプログラム担当が原案を作成している。 原案は、学科長・教育部長の順に審査が行われ、学校長の承認のもと決定される。 授業計画（シラバス）はHP上にて公表するとともに、年初のオリエンテーションにて詳細説明を行い、学生に周知している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「水野学園GPA制度に関する内規」により、成績評価においてGPAによる客観的な指標を設定し、学内の成績評価として使用している。 成績の分布状況を把握し、数値不良者に対して個別面談・就学支援をすることとしている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定についてはディプロマポリシーを定め、HPにて公表している。 卒業認定は、履修状況、出席率、授業態度、成績などを総合的に判断し、担当講師、学科長、教育部長、学校長の合議により決定することを事前に通知した上で実施している。 結果は掲示にて公表している。
学修支援等
（概要） ・クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ・履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ・公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ・学校提携の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	1人 (4.5%)	19人 (86.4%)	2人 (9.1%)
(主な就職、業界等) 株式会社あさひ、DAIWA CYCLE 株式会社、トレックジャパン株式会社、 自転車販売店、自転車修理会社、自転車製造メーカーへの就職			
(就職指導内容) 就職活動の流れ等説明、履歴書書き方指導、面接指導			

ビジネスマナー指導、学内説明会、リクルート内覧会ほか
(主な学修成果(資格・検定等)) 自転車安全整備士 資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	5 人	10.9 %
(中途退学の主な理由) 経済上の理由、健康上の理由、履修上の理由、 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、出席状況・課題提出状況を書した保護者通知の WEB 閲覧、 学校長メールアドレスの全学年公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、 個別面談など。 中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。 中途採用求人公開なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		ジュエリー 専門課程	ジュエリーデザイン科 ジュエリープロダクト コースⅡ	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1860 <u>単位時間</u> /単位	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
3年			単位時間 /単位	単位時間 /単位	1860 <u>単位時間</u> /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人		7人	0人	1人	2人	3人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画 (シラバス) の作成に当たっては、カリキュラムポリシーに則り、 各コースのプログラム担当が原案を作成している。 原案は、学科長・教育部長の順に審査が行われ、学校長の承認のもと決定される。 授業計画 (シラバス) はHP 上にて公表するとともに、年初のオリエンテーションに て詳細説明を行い、学生に周知している。
成績評価の基準・方法
(概要) 「水野学園GPA制度に関する内規」により、成績評価においてGPAによる客観的 な指標を設定し、学内の成績評価として使用している。 成績の分布状況を把握し、数値不良者に対して個別面談・就学支援をすることとして いる。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定についてはディプロマポリシーを定め、HPにて公表している。 卒業認定は、履修状況、出席率、授業態度、成績などを総合的に判断し、担当講師、学科長、教育部長、学校長の合議により決定することを事前に通知した上で実施している。 結果は掲示にて公表している。
学修支援等
(概要) ・クラス担任制および専用学生窓口を設け、学生が話しやすい環境を整えている。 ・履修不良の学生に対して、個別の放課後指導・追試等を実施している。 ・公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ・学校提携の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	1人 (100%)
(主な就職、業界等) 家業手伝い			
(就職指導内容) 就職活動の流れ等説明、履歴書書き方指導、面接指導 ビジネスマナー指導、学内説明会、リクルート内覧会ほか			
(主な学修成果(資格・検定等)) 貴金属装身具技能検定 2級・3級 ジュエリーコーディネーター検定 2級・3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	2人	28.6%
(中途退学の主な理由) 経済上の理由、進路変更、 など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、出席状況・課題提出状況を書した保護者通知のWEB閲覧、 学校長メールアドレスの全学年公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、 個別面談など。 中退者からの希望があれば、就職支援のための個別相談を実施。 中途採用求人公開なども実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ジュエリーデザイン科 ジュエリープロダクトコース (1年次)	200,000円	798,800円	400,000円	
ジュエリーデザイン科 ウォッチメーカーコース (1年次)	200,000円	798,800円	500,000円	
ジュエリー研究科 クリエイティブジュエリーコース (1年次)	200,000円	798,800円	400,000円	
スポーツ工学デザイン科 自転車メカニックコース (1年次)	200,000円	800,000円	400,000円	
ジュエリーデザイン科 ジュエリープロダクトコースⅡ (1年次)	70,000円	478,800円	250,000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手) https://hiko-osaka.jp/about_futankeigen
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校では、各専攻分野の関連企業、関連団体の関係者を評価委員として、学校関係者評価委員会を組織する。同委員会では、本校自己点検・自己評価報告書に基づき、学校の運営状況や当該学科の教育状況、進路状況、学校全体の設備や運営状況などに関する自己評価結果を報告し、各委員より自己評価結果の評価を受け、自己評価結果の妥当性・客観性・透明性を高めるとともに当該学科への理解促進や連携協力による今後の運営や教育の改善等を図ることを基本方針とする。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大阪ジュエリー工芸協同組合	2021/4/1～2023/3/31	業界団体等委員
大阪ジュエリー工芸協同組合	2021/4/1～2023/3/31	業界団体等委員
一般社団法人日本時計輸入協会	2021/4/1～2023/3/31	業界団体等委員
株式会社ウォッチラボ	2021/4/1～2023/3/31	企業等委員
大阪府・大阪市自転車競技連盟	2021/4/1～2023/3/31	業界団体等委員
株式会社きゅうべえ	2021/4/1～2023/3/31	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://hiko-osaka.jp/about_futankeigen		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://hiko-osaka.jp/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「—」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

*「—」は、個人情報へ配慮するための伏字であり、記載すべき合計値等には一切影響を与えないことに注意すること。

学校名	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪
設置者名	学校法人 水野学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		24人	24人	25人
内 訳	第Ⅰ区分	14人	13人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				25人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	—
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	—
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	—
計	人	0人	—

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。